



この日は78回目の原爆慰霊祭。通常の開始時間よりも1時間前に集まり、地域交流で地元の方々と一緒に水路清掃と草刈りを行いました。

砂原・川原・佐藤・北田の各4名は、取水口まで上がりながらの水路清掃作業（今回はわりと楽でした。とのことでしたが、皆汗びっしょり）。鎌田・平尾・岩田の3名は草刈りを担当しました。途中、サイレンが鳴り作業を中断し1分間の黙とうを捧げました。こうして平和に作業をさせていただくことに誠に感謝です。

さて、通常の里山部会前に、ひと汗をかいて臨み、いつもより少し遅く9時30分スタート。始業ミーティングでは、7月の作業のふりかえり（荒天時の参加基準について確認）と、当日の作業についての周知を行いました。当日の主な作業は、駐車場の草刈りと、ナラ枯れ病に罹り枯れて倉庫に直撃しそうなコナラ1本の伐倒。チルホール・ロープを使って確実に倒し、棚積みまで行い作業を終了しました。地元の新宅さんからスイカ、会員の明野さんから、瓜を差し入れていただき、皆で美味しく頂戴いたしました。（12名の参加）

次回は、9月10日（日）妙国寺裏山のスクウスクウの森で10月例会の準備・参道沿いに新たに発見されたナラ枯れを伐倒する予定です。月替わりの責任者の応募待っています。

写真上：地域交流初参加の平尾さん 中：駐車場で刈り取った草を集める川原さん(奥)
下：伐倒した材を棚積みする高橋さん。



8月のクラフト部会では、「ゆうゆう」や各種活動のための部材製作

を東山本の鹿が谷ベースで実施しました。当該場所は、今年度、砂防堤が作られるため、ベースの周辺は工事現場の様相を呈しています。先月で進入路の整備と樹木の伐採が行われ、山肌があらわとなっています。

作業環境は今年度一杯、良好とは言えませんが、植物園での「秋のグリーンフェア」、森林公園での「森の市」等のイベントが目白押しであり、しっかり準備をしようと思いで励ましています。

興味のある方は是非とも参加して頂きたいと思います。8月の参加人数は13名でした。

写真左：すっかり様変わりした 砂防堤が作られる鹿が谷の現在。 右：秋のイベントに向け、部材作りに励むクラフト部会活動の様子。

